

神戸学生青年センター センターニュース

KOBE STUDENT YOUTH CENTER NEWS No.115

No.115

発行所 (公財)神戸学生青年センター
理事長 飛田 雄一
館長 朴 淳用

〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22
TEL (078)891-3018 FAX (078)891-3019
Yahata-cho 4-9-22, Nada-ku
Kobe, 657-0051 Japan

E-mail: info@ksyc.jp
U R L https://ksyc.jp

六甲ウィメンズハウス 入居受付中

女性や子どもが「ここにしか住めない」ではなく
「ここに住みたい」と思える住まいをつくらう

館長 朴 淳 用



六甲ウィメンズハウスは、さまざまな困難を抱えた女性・子どもが孤立せず安心して暮らし、自立していけるよう支えるための住まいです。スタッフが建物内に常駐し、孤独感を解消しながら経済的・精神的に自立し、出発することをサポートします。

*

2022年9月センターニュース109号にて報告しておりましたが、六甲ウィメンズハウス建設事業が無事に完成し、2024年6月より入居者募集を始めております。8月現在10世帯の家族が生活しております。

六甲ウィメンズハウス事業は、2021年旧センターより新センターへ移転し、2022年センター設立50周年を迎え、今社会が必要とする活動としてセンターが担うべきことについて考えた結果、学生支援事業として学生寮建設を決めたのがきっかけです。2021年夏認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべの提案を受けて二つの団体による共同事業として行っております。コープこうべの旧女子寮を無償で提供して頂き、建設費用の負担を減らすため、

2022年国土交通省所管補助金交付事業である「住まい環境整備モデル事業の事業者提案型」に応募し、選定されました。その後、基本設計や入居者への支援マニュアル作成等を経て、2023年10月より内部工事を行い、2024年5月にはIKEAジャパンより全室の家具を寄付・設置して頂きました。6月には三菱電機より35室に冷蔵庫を寄贈して頂きました。みなさまのご協力によって無事六甲ウィメンズハウスの完成を報告出来ることを嬉しく思っております。

これから、六甲ウィメンズハウスを必要とする方々に広く情報を提供し一人でも多くの方が支援を受け、自立していくようにサポート致します。

もう一つ、2024年9月より尼崎市営住宅の空き室を利用し、留学生への居住支援のための内部工事が完了し、現在入居者を募集しております。

2024年6月開館した神戸学生青年センターの新しい事業「六甲ウィメンズハウス」と「尼崎市営住宅」を利用した居住支援事業に引き続きみなさまのご関心とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



六甲奨学基金2024年度の奨学生

- ① 張 靖 敏 台湾 兵庫教育大学
- ② VU THI NGOC MAI ベトナム 芦屋大学
- ③ YEASIN MD カンボジア アリスト外語学院
- ④ A ME ME HTUN ミャンマー 神戸電子専門学校
- ⑤ PHAM VAN VI ベトナム 専門学校トヨタ神戸自動車大学校
- ⑥ HTET THINZAR AUNG ミャンマー 大手前短期大学
- ⑦ BUI QUOC KHANH ベトナム 関西国際大学
- ⑧ 孫 芸 軒 中国 神戸芸術工科大学
- ⑨ SYANGBO DORJE ネパール アジアンインターナショナルセンター

今年度は授与式4.18を開催しました。毎月1回奨学金受け取りに来館される際にお話するのが楽しみです。土曜ティーサロンでお話くださる奨学生さんもおられます。みなさま、ぜひご参加ください。(T)



4.18授与式

林賢宜さんの韓国料理教室

4月茸入り鍋物・じゃこ炒め、6月ビンパ・牛肉入りワカメスープ、7月参鶏湯・きゅうりキムチの作り方を学びました。参鶏湯はあっさりとした複雑な味わいのスープで暑い夏にピッタリでした。9月以降も続きます。気になるメニューをみつけてご参加ください。(T)



7.6 参鶏湯

地域住民を対象とした『生活の漢字』教室

兵庫県国際交流協会民間国際交流事業助成事業として開催しています。1回目は筆ペンや硯&筆を使ってオリジナルの団扇づくりをしました。2回目は浴衣を着て盆踊り体験。参加者は日本語を学んでいる人、多文化交流に関心のある人など毎回20名ほどの方々が参加され、楽しい交流が続いています。(T)



8.17 生活の漢字

高作先生と学ぶ憲法

センターと高作先生と学ぶ会の共催プログラム。今回は新しいメンバーも加わり充実した勉強会でした。テーマは、「人権を侵食する日本政治」。①性別・家族制度と人権、②戦時国家体制と人権について学びました。アメリカ等とともに「戦争をする国」になろうとしている日本について考えました。<「国民の敵」を国内につくる>権力者・多数者にたいしてどう抵抗するか、私たちの課題です。2024年度後期は、11月9日「民主主義の自壊と再生(仮)」です。(H)



6.29 高作正博さん

はんてんの会「万博」講演会

はんてんの会は、兵庫反天皇制連続講座。センターと共催で「万博は帝国主義と植民地主義の原点」。講師は地理学が専門の神戸大学准教授の原口剛さん、『叫びの都市 寄せ場、釜ヶ崎、流動的下層労働者』(洛北出版)などの著書があります。1903年に天王寺公園一帯で開催された内国勧業博覧会の「学術人類館」のことも学びました。(H)



4.16 原口剛さん

飛田雄一オカリナコンサート

センター理事長飛田雄一さんのオカリナコンサートが行われました。オカリナに出会って約30年、初めての単独コンサートで、ゲストは糸原摩里さん(ピアノ)。「川の流れるように」や「イムジン河」などお馴染みの曲に思わず口ずさむ人もあり、飛田さんの軽妙なトークと演奏であつという間の2時間でした。(Y)



6.1 飛田雄一オカリナコンサート

アフガニスタン細密画展

4月25~29日に3階ロビーとサロン室で行われました。宝塚アフガニスタン友好協会の西垣敬子さんが自ら企画され、今までに東京と宝塚でも開催。絵画の売上金は圧政と困窮に苦しむ女性画家たちへの支援に使われます。アフガニスタン・ヘラート州に伝わる豊かな伝統文化の一端を知ることが出来ました。(Y)



4.27 アフガニスタン細密画展



会議室A(本館ウエスト100)

会議に... セミ・会議・講演会に
＜1時間以上30分単位でご利用いただけます＞

ご予約は6か月前より
☎078-891-3018

会場利用料金(1時間ごと)



スタジオB(ノース10)

■ウエスト100(本館)

部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
ホール(2F)	60名	90㎡	2,200円	1,760円
会議室A(1F)	36名	60㎡	1,650円	1,320円
サロン室(1F)	20名	40㎡	1,650円	1,320円
会議室B(4F)	18名	25㎡	1,100円	880円
和室(4F)	12名	20㎡	1,100円	880円
会議室C(4F)	4名	8㎡	550円	440円

※ホール: グランドピアノ3,300円/回
会議室A: グランドピアノ2,200円/回
プロジェクトー2,200円、マイク550円/本

■ノース10(北館)

部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
スタジオA	24名	35㎡	1,650円	1,320円
スタジオB	24名	30㎡	1,375円	1,100円
スタジオC	12名	20㎡	1,100円	880円

※スタジオA: アップライトピアノ1,100円/回、プロジェクトー2,200円

- ・準備、あとかたづけを含め、すべて利用時間内に行ってください。
- ・キャンセルをされる場合は必ずご連絡をお願いいたします。
- ・連絡なく利用されなかった場合は利用料の100%、当日キャンセル80%、前日のキャンセル50%、前々日までのキャンセル無料です。
- ・当館には駐車場がございません。ご了承ください。



事務所はウエスト100(本館)

ウエスト100 〒657-0051 神戸市灘区八幡町4丁目9-22

ノース10 〒657-0065 神戸市灘区富山町3丁目3-1 六甲駅前ビル4F

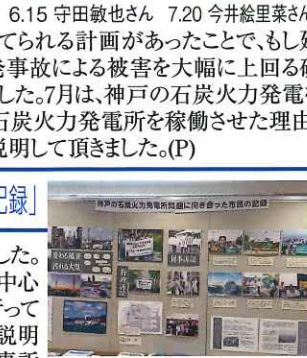
●阪急六甲より徒歩1分
●JR六甲道より徒歩10分

食料環境セミナー

4月は健康情報研究センター代表の里見 宏さんより、長年行われていた照射ジャガイモの反対運動を紹介して頂き、現在の施設状況を教えて頂き、今は放射線育種に方向転換していることについてあきたこまちRを事例として紹介して頂きました。5月は遺伝子組換え情報室代表の河田昌東さんより、秋田県があきたこまちRを導入する理由は、輸出米の増産に転換する上で海外のコメのカドミウム基準値が低いことからカドミウム吸収抑制米への転換を進めること、2027年から秋田産のあきたこまちは全てあきたこまちRに転換し、あきたこまちRは表示せず、従来通りあきたこまちと表示することが問題の中心にあるのを説明して頂きました。6月はジャーナリストの守田敏也さんより、日本列島は地震の巣とも言える状態であることを再認識させていただき、今回、大きな地震被害があった能登半島北側には、珠洲原発が建てられる計画があったことで、もし建設されていたら今回の能登半島地震によって福島原発事故による被害を大幅に上回る破滅的な被害が起きた可能性があったことを教えて頂きました。7月は、神戸の石炭火力発電を考える会の今井絵里菜さんより、神鋼が高炉の跡地に石炭火力発電所を稼働させた理由、石炭火力発電所の概要や何が問題かについて詳しく説明して頂きました。(P)



4.20 里見宏さん 5.18 河田昌東さん



神戸の石炭火力発電所問題に引き合った市民の記録

写真展「神戸の石炭火力発電所問題に引き合った市民の記録」

7月20日～8月13日まで、センター3階ロビーにて開催しました。7月の食料環境セミナーの講師である今井絵里菜さんを中心に神戸の石炭火力発電を考える会のみなさまが今まで行ってきた反対活動の主な歩みとして環境影響評価における説明会、公聴会、意見・要望・要請活動と、公害調停活動、民事訴訟、行政訴訟活動に関する記録や写真が展示されました。(P)

土曜ティーサロン

4月は「ギリシャの歩き方」春原伸佳さん(ギリシャのお店「φ(フィ)」オーナー)、6月は「ベラルーシの歩き方」ヴィクトリア・スモルスカヤさん(神戸市在住)、7月は「韓国・全羅南道の歩き方」中野葉子さん(ライター・語学講師) 4月 春原伸佳さん 6月 ヴィクトリア・スモルスカヤさん 7月 中野葉子さんがお話し下さいました。その地を知り尽くした達人ならではの話題をありがとうございます。土曜サロンは毎月第1土曜日の午後2時からです。ふるってご参加下さい。(Y)



現代キリスト教セミナー

150年にわたって英語圏とドイツ語圏を中心とした外国人コミュニティの交流の場となってきた神戸ユニオン教会。近年、ユニオン教会に保管された戦中・戦後の写真や史料が見つかり、外国人コミュニティの研究が進められています。今回は神戸市域における欧米系コミュニティ研究会代表の衣笠太朗さん(神戸大学)が「ユニオン教会の歴史から見る多文化都市神戸」をテーマにお話し下さいました。ユニオン教会の古い歴史を知る参加者とのやり取りもあり、内容豊富なセミナーでした。この調査研究は今後も継続されるということなので、次なる報告も楽しみです。ありがとうございます。(Y)



5.9 衣笠太朗さん

朝鮮史セミナー「村山知義と朝鮮、そして宝塚歌劇団」

村山知義(1901～1977)は、小説家、画家、デザイナー、劇作家、演出家、舞台装置家、ダンサー、建築家。戦前プロレタリア芸術運動にかかわり投獄もされています。春香伝を企画・上演するなど朝鮮と深い関係を持ち、宝塚歌劇団にも影響を与えています。高龍弘さんは兵庫朝鮮関係研究会が最近出版した『秘録-在日コリアンヒストリー-戦後の民族組織結成から芸能・タカラヅカまで』に論文を書かれています。知らない事をたくさん教えていただきました。同研究会はセンターと関係が深く出版部から『在日朝鮮人90年の軌跡-続-兵庫と朝鮮人-』(1993.12)を出しています。(H)



5.30 高龍弘さん

「サンマデモクラシー」上映会

沖縄に基地を押しつけない行動・兵庫、玉城デニーさんトークキャラバン津々浦々の会と共催で4月14日、2回上映会を行いました。準備・司会・片付けまで松本亜季さんと小宮勇介さんにお世話になりました。ありがとうございました。(P)

定期利用 グループ・教室のご案内

- ◆からむい会(絵更紗) 第2・4木曜日・後0～4:00
連絡先・小塚 078-731-3694
- ◆すぎなコース 月曜日・前10～12:00
連絡先・大谷 078-861-0338
- ◆神戸女声合唱団 金曜日・前10～12:00
連絡先・谷山 078-783-8665
- ◆創作アプリケ
第2・4月・金曜日・前10～12:00
第2・4金曜日・後1～3:00
柏原先生 078-821-4632
- ◆ノイエカンマーコール(混声コーラス)
第1・3・4土曜日・後5:30～9:00
連絡先・西山:080-5704-5406
- ◆ヨガ体操 火曜日・前10:00～12:00
廣瀬先生 078-851-8851
- ◆全珠連会員・熊内そらぼん六甲教室
火・後3～7:00、土・後2～5:00
奥野先生 078-241-1095
- ◆テコンドーアカデミー武哲館道場
毎週金曜日・後7～9:00
妹尾先生 070-1046-1575
- ◆実践空手道場稽古会 毎週月曜日・後4～9:00
藤本先生 078-842-5669
- ◆すずめの学校(ニューヨークタイムズ紙を読む会)
第1・3金曜日 前10:00～12:00
連絡先・三田 090-7092-6903
- ◆前田書道会 第1・3火曜日・前9～後3:00
前田先生 078-385-1650
- ◆Rokko kids English Club
木・金 幼稚園クラス・親子クラス
山本先生 078-585-9328
- ◆東神戸トースタマーズクラブ
第4土曜日 後1～5:00
連絡先・細川 080-8525-3926
- ◆崑曲勉強会 第3日曜日 後1～5:00
連絡先・村田 078-806-8243
- ◆神戸フィラデルフィア教会 聖書の会
日曜日・前10～後1:00
連絡先 078-871-9192
- ◆公文阪急六甲駅前前書き教室
水曜日・後3:00～8:00、土曜日・前9～後3:00
高田先生 080-4485-7877
- ◆居空間RoCoCo
火・水・木
連絡先 070-5346-6550
- ◆親子で手しごと「いいねっご」
第2土曜日・前9時～12時
連絡先・桑田 090-7755-0807
- ◆ハーモニースマイル
第1・3水曜前10～12時
第2・3・4金曜後1:30～3:30
松本先生080-5353-4135

お問い合わせやお申込は、各グループ・教室に直接ご連絡ください。

※当センターへの寄附金は、①所得控除または②税額控除が受けることができます。賛助会費、六甲奨学基金募金の両方に適用されます。詳しくはセンターにお問い合わせください。

賛助金・六甲ウィメンズハウス募金 2024.3.21~2024.8.31 (敬称略・単位円)

Table listing donors and amounts for the Women's House fund. Includes names like 三宅三千子, 兵頭晴喜, 黒木雅子, etc., and a total of 799,500 yen.

賛助金ご協力をお願い
●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法 郵便振替(01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)

六甲奨学基金 2024.3.21~2024.8.31 (敬称略・単位円)

Table listing donors and amounts for the Scholarship Fund. Includes names like 李俊憲, 松下宜且, 徳田暁子, etc., and a total of 172,000 yen.

六甲奨学基金ご協力をお願い
●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法 郵便振替(01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)

セミナーの記録 2024.4.1~2024.8.31

Grid of seminar records including '食料環境セミナー', '朝鮮史セミナー', '現代キリスト教セミナー', 'その他のセミナー・行事', 'ろっこうおーがにつく市', and '六甲おーがにつく市3周年記念ミニ音楽会'.



6.22 ろっこうおーがにつく市3周年ミニ音楽会